

令和5年2月27日

令和4年度 三原市一校一貢献事業実施報告書

三原市立須波小学校
校長 坂田 登

1 実施期間 令和4年6月4日から令和4年11月1日

2 取組

(1) 概要

ゴミ拾いや草取りなどの校区内清掃（クリーン活動）を、1回目は小中合同の活動として、2回目は小学校のみの活動として、保護者とともに年間2回以上行い、須波の町をきれいにすることで、地域を愛する心情を育てるとともに、将来にわたる環境保全について考えていく。

(2) 具体的実践内容

- 1回目の小中合同のクリーン活動では、中学校の生徒会と小学校の児童会でリモートを通して活動の取組について話し合い、代表委員会で全体に提案した。2回目は、児童会が中心となって準備を進め、代表委員会で提案していった。
- 活動前日までの昼休憩に学区長・班長を集め、活動のねらいと内容を説明した。活動前日に各学級で担任が児童に一校一貢献活動のねらいと内容を説明し、その理解を図った。また、軍手持参の指示を行い、火ばさみ・ビニル袋の管理や扱い方及び交通安全について指導した。
- 安全に気を付けて、決められた場所の清掃活動を30分程度行った。活動後班ごとに終わりの会を持ち、手伝ってくださった保護者の方にお礼を伝えた。
- カリキュラム・マネジメントの視点から、各学年の関連する教科等を関連づけて計画し、活動前に自分の取組目標をキャリア・ログに書かせた。
- 活動後に自分が感じたことをまとめ、一校一貢献事業の取り組みとして、ホームページや学校だより等で保護者や地域にクリーン活動の意義や成果を見ていただいた。

【始めの会】



【中学生による説明】



【校庭の草取り及び石拾い】



【須波ハイツ中央公園・須波港・須波駅周辺の清掃】



【登校班ごとの終わりの会】



【児童の感想】

道中のゴミや中央公園の落ち葉や草を取ることをがんばった。グループのみんなや保護者の方と協力してできた。これからも、今回のクリーン活動のように、社会に貢献していきたい。
(6年児童)

道に落ちているゴミや校庭の草を保護者の方と協力して取ることができた。道ばたにゴミが捨てられていることが当たり前になっている今、登下校で自分が通る所だけでも、私たちがきれいにしていきたいと思った。(6年児童)

(3) 成果

- 今年度は、1回目を中学校との合同の活動として、生徒会と児童会が中心となって計画をし、活動をやりきることができた。2回目の活動も児童会を中心に活動呼びかけ、高学年を中心に意欲的に活動を進めることができた。2回目の活動は、道徳参観日の後に行ったことでPTAの参加も多く、児童も意欲的に取り組むことができた。
- 児童が活動する姿を見て、地域の人からも「良く頑張ってるね。ありがとうね。」などと声をかけてもらったり、「須波を大切に思う心を育ててもらってうれしい。」などの評価をいただいたりして、「自分からも町をきれいにしていこう。」とする意欲が高まってきた。
- 児童へのアンケート調査で、「自分から積極的に活動できた。」「須波の地域に貢献したいと感じることができた。」という児童の割合は、96%で目標値を達成することができた。
- 来年度に向けて、児童に一校一貢献活動の意義をしっかりと周知し、やらされる活動ではなく、自分たちの活動として動けるように児童と話し合って計画を立てていく。